

# 静脈路確保及び薬剤投与用トレーの開発

福岡市消防局（福岡）

樋口 舞衣

## 1 はじめに

既存品の使用針廃棄ボトル及び静脈路確保セットは、主に救急現場で使用することが前提となっているため、救急車内で使用するには転倒防止策や使い勝手に不具合がある。

救急車内で静脈路確保及び薬剤投与を速やかに実施するための専用品が必要である。不安定な環境である救急車内での使用に適した専用品を作成し、より効率のよい救急救命処置を目指すもの。

## 2 開発上の問題点

静脈路確保セットは、いずれも収納においてはタッパーを、廃棄材入れにはのう盆を流用しているが、救急車内は揺れる上、スペースが限られているため、その使い勝手に不具合がある。

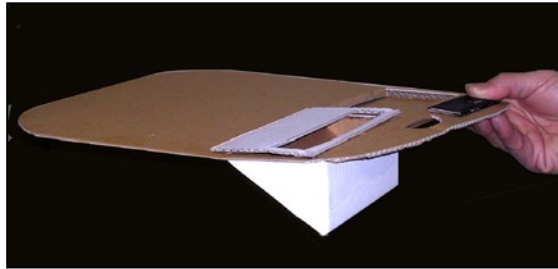
また、使用後の針を廃棄する際、のう盆を近くに置けない場合、針刺し事故の危険が生じている。

## 3 機器の効果

静脈路確保セットを、狭いスペースを活用し確実に固定でき、転倒防止策や使い勝手が向上し、また、薬剤投与までの時間短縮が期待できる。

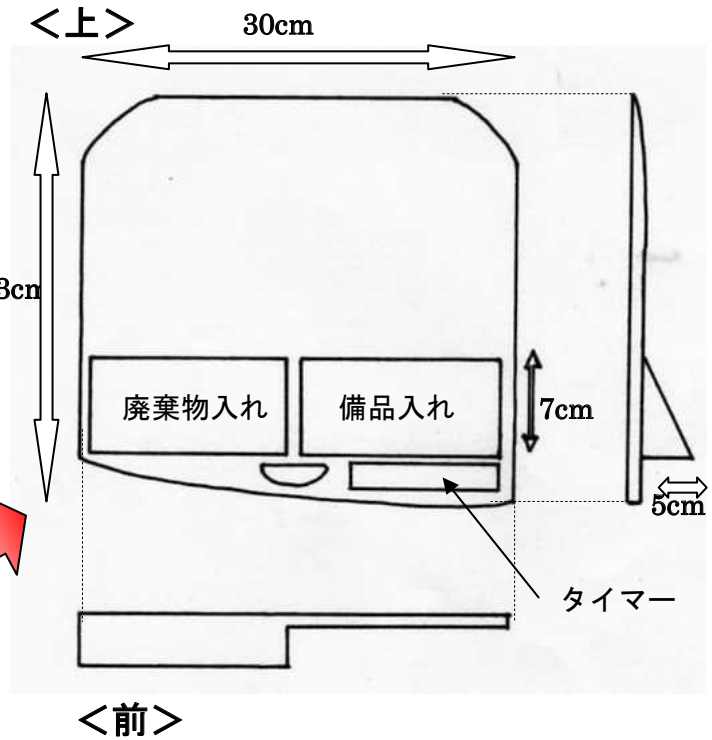
廃棄ボトルは、針を使用後最短距離で廃棄できるため、針刺し事故の危険性が極めて低くなる。

タイマーがセットされているため、薬剤投与に際して、確実な時間管理が行える。



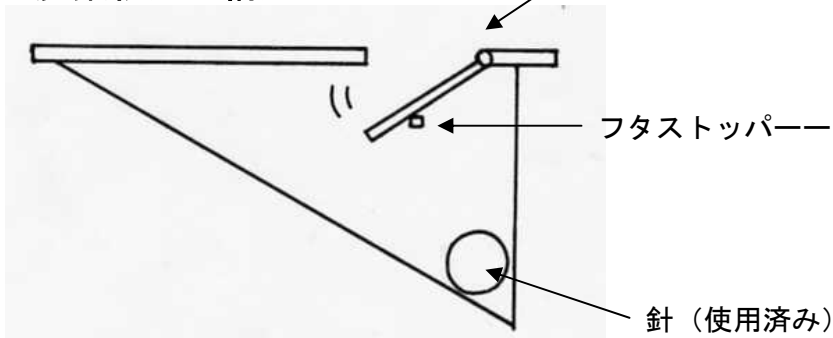
写真は、①方向から撮影

①



フタは取り外し可能。  
 廃棄物挿入口は自重で開閉するので、  
 逆さまにしても使用済みの針が出てこない。

<廃棄物入れ構造>



- ポリプロピレン製(厚さは約3mm)
- サイズは 30cm×33cm
- タイマーはアラーム機能付(キッチンタイマーのような簡易なものでよい。)
- 廃棄物入れはフタ付き(取り外し可能)
  
- 使用時、ストレッチャーの右上肢側の柵は、完全に下ろして使用する。
- 上部を、傷病者とベッドの間に差し込むことで固定できる。



フタは、取り外し可能



使用中(フタ装着)



身体の下に  
差し込んで使用



ストレッチャーの柵は、  
完全に下ろす



使用済み針の廃棄